各実習で経験した患者安全に向けた実践と指導内容

群馬大学医学部保健学科看護学専攻
吉田有希

情報提供の概要

1. 1～2年生の講義や
演習で学んだ患者安全
2. 2年生の基礎看護実習
3. 3年生の領域別実習
4. 4年生の保健師実習・総合実習

大学の講義・演習で学んだこと～1.2年生～

・寝衣交換

関節の支持　最小限の動き

・清潔ケア

タオルやお湯の温度の確認

・注射

6Rの確認　ダブルチェック

基礎看護学
実習(2年生)

清潔ケアを実施するときに大切なこと

客観的データ ＋ **主観的データ**

アセスメント

<u>**根拠**</u>をもってケア実施の判断を行う

受け持ち患者さんへのケア
～基礎看護学実習～

看護計画

検査への不安を取り除きたい

ベッドサイドでのコミュニケーション

対象者のお話を傾聴

しかし…

情報収集をすることで頭がいっぱいになり、

患者さんの体調などを気にせず訪室してしまい、

安全を考えた行動が十分にできていなかった

実施したこと

転倒・転落のリスク

ベッド周辺に物が置かれていないか
ベッドのストッパーがされているか
かかとのある履物を履いているか

領域別実習（3年生）

・小児

感染症予防が重要→手洗いや手指の消毒

・老年

衣服の着脱の援助→転倒せずに安全に着替えられるようにいつでも支えられる準備

・全領域

転倒転落の予防→環境整備の実施：歩行時はいつでも支えられるように

続きをご覧になりたい方は、
以下ＱＲコードから会員登録をお願いします

https://psec.med.gunma-u.ac.jp/members/sign-up/

群馬大学
GUNMA UNIVERSITY
医療安全教育手法に基づく多職種人材育成共同利用拠点
多職種人材育成のための医療安全教育センター